
『大原社会問題研究所雑誌』 2011年度総目次

- (1) 2010年度の総目次は、2011年4月号 (No.630) を参照されたい。
- (2) 2009年度の総目次は、2010年4月号 (No.618) を参照されたい。
- (3) 2008年度の総目次は、2009年3月号 (No.605) を参照されたい。
- (4) 『資料室報』第1号～『大原社会問題研究所雑誌』第599・600号までの総目次については、2008年10・11月号 (No.599・600) を参照されたい。
- (5) なお、大原Webサイト (<http://oisr.org>) でも、バックナンバー総目次を掲載している。さらに、1997年4月号以降については、雑誌本体のオンライン・ジャーナル化、Web上での公開を行っている。

【2011年4月号 No.630】

【特集】水俣病事件と新日本窒素労働組合

新日本窒素における労働組合運動の生成と工職身分制撤廃要求——組合旧蔵資料の公開に寄せて

花田昌宣

戦後日本の社会運動におけるチッソ労働運動の位置づけ——もう一つの「水俣」 大石 裕

メディア言説としての安定賃金闘争と水俣病事件 小林直毅

論文 広区域単営医療組合の存立形態と地域社会——青森市・東青病院を中心に 川内淳史

書評と紹介 藤内和公著『ドイツの従業員代表制と法』 平澤克彦

有馬 学著『日中戦争期における社会運動の転換——農民運動家・田辺納の談話と史料』 横関 至

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』2010年度総目次

月例研究会 比較・大企業と中小企業で働くということ 相田利雄

所 報 2010年12月

【2011年5月号 No.631】

【シンポジウム】三池争議と向坂逸郎

三池争議とは 平井陽一

向坂逸郎にとっての三池 石河康国

報告に対するコメント 兵頭淳史

質疑応答

論文 1990年代以降のドイツにおける労働協約体制の変容——国家の役割に注目して 大重光太郎

書評と紹介 早川征一郎著『イギリスの炭鉱争議 (1984～85年)』 松村高夫

佐藤健二著『社会調査史のリテラシー——方法を読む社会学的想像力』 江頭説子

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2011年1月

【2011年6月号 No.632】

【特集】女性と労働運動（1）

労働運動のジェンダー主流化と女性の自主活動組織——英米の先行研究に見るジェンダー分析の視点と日本への含意 萩原久美子

1990年代以降の韓国における労働力の非正規化とジェンダー構造 横田伸子

同一価値労働同一賃金原則の変遷と課題 居城舜子

論文 「左派」農民運動指導者の戦中・戦後——旧全会派の場合 横関 至

書評と紹介 野依智子著『近代筑豊炭鉱における女性労働と家族——「家族賃金」観念と「家庭イデオロギー」の形成過程』 千本暁子

Jun Imai（今井順）著 *The Transformation of Japanese Employment Relations : Reform without Labor*

鈴木 玲

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2011年2月

【2011年7月号 No.633】

【特集】女性と労働運動（2）

非正規労働者の処遇改善と企業別組合の取り組み——ジェンダーへのインパクトに着目して

金井 郁

女性組合役員の増加と組合運動の変化 首藤若菜

論文 東芝における賃金制度の変遷とその特質——賃金制度再編の方向を探る 田口和雄

資料紹介 協調会発行の「労働雑誌」『人と人』の復刻 高橋彦博

書評と紹介 赤堀正成・岩佐卓也編著『新自由主義批判の再構築——企業社会・開発主義・福祉国家——』

高橋祐吉

菅 富美枝著『イギリス成年後見制度にみる自律支援の法理——ベスト・インタレストを追求する社会へ』 秋元美世

菅山真次著『「就社」社会の誕生——ホワイトカラーからブルーカラーへ』 金子良事

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 大原社研と私——在職32年 吉田健二

所 報 2011年3月

【2011年8月号 No.634】

【特集】ベーシック・インカム

ベーシック・インカムの魅惑と当惑 成瀬龍夫

ベーシック・インカムの理論と実践——日本の社会政策の場合 武川正吾

東日本大震災と所得保障の必要性——ベーシック・インカム要求が提起するもの 山森 亮

ベーシック・インカムというラディカリズム 新川敏光

証言：日本の社会運動 全日化の結成と産別会議の運動——亀田東伍氏に聞く（上） 吉田健二

書評と紹介 清水耕一著『労働時間の政治経済学——フランスにおけるワークシェアリングの試み』

濱口桂一郎

河合克義著『大都市のひとり暮らし高齢者と社会的孤立』 藤 俊

竹田 有著『アメリカ労働民衆の世界』 南 修平

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 高度成長期における金型製造業の取引関係 平山 勉

所 報 2011年4月

【2011年9・10月合併号 No.635・636】

【特集】日本における女性労働の歴史

社会政策学会第120回大会テーマ別分科会「近代日本の女性労働」をめぐって 竹内敬子

近代日本の世帯経済と女性労働——「小経営」における「従業」と「家事」 谷本雅之

戦間期の繊維産業と労働市場の変容 榎 一江

労働運動にみる男女雇用平等実現への課題——均等法制定前後の総評婦人局の諸相から 山田和代

講 演 労働調査の課題と方法——私的体験を踏まえて 山本 潔

証言：日本の社会運動 全日化の結成と産別会議の運動——亀田東伍氏に聞く（下） 吉田健二

書評と紹介 山根純佳著『なぜ女性はケア労働をするのか——性別分業の再生産を超えて』 矢澤澄子

前田信彦著『仕事と生活——労働社会の変容』 筒井美紀

ユルゲン・コッカ著／松葉正文・山井敏章訳『市民社会と独裁制——ドイツ近現代史の経験』

畠田大知彦

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 年金額分布の推計 畠中 亨

所 報 2011年5・6月

【2011年11月 No.637】

【特集】徒弟制度の変容と熟練労働者の再定義——資格、技能、学理

特集にあたって 小野塚知二

日本における「熟練工」概念と「熟練工」養成プランの形成——徒弟制度・学校・企業内養成とのか
かわり方に焦点を当てて 市原 博

オーストラリアにおける徒弟制度と技能実習制度——その歴史的展開と将来展望

ポビー・オリヴァー／齋藤翔太郎・小野塚知二訳

20世紀初頭のフランス製造業における職業教育訓練と技能——権力闘争と金銭取引のはざま

カトリヌ・オムネス／松田紀子訳

論 文 障害者雇用におけるISO26000の役割と活用の意義——ステークホルダーエンゲージメントと社会的
責任の組織への統合から 山田雅穂

書評と紹介 三富紀敬著『欧米の介護保障と介護者支援——家族政策と社会的包摂、福祉国家類型論』

深澤 敦

杉田菜穂著『人口・家族・生命と社会政策——日本の経験』 堀口良一

武田晴人編『日本の情報通信産業史——2つの世界から1つの世界へ』 平山 勉

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 第一次世界大戦後における社会教育の展開 金子良事

所 報 2011年7月

【2011年12月号 No.638】

【特集】戦時動員体制下の記録

特集にあたって 榎 一江

覚書：戦時労務動員体制下の「別天地」——在日朝鮮人朴麟植氏の証言を辿って 戸塚秀夫

資料紹介：アジア太平洋戦争期における陸軍工員の人事記録——工員名簿、工員手帳、共済組合員原票、留守名簿の制度的概略と戦後の残存状況 近藤貴明

資料紹介：『新版・きけわだつみのこえ（第一集）』改訂案とその典拠 岡田裕之

論 文 フランスにおける社会的排除と文化政策——社会的包摂における芸術・文化の意義 天野敏昭

書評と紹介 近藤正基著『現代ドイツ福祉国家の政治経済学』 安井宏樹

西成田 豊著『退職金の一四〇年』 武田晴人

田沼肇全活動・著作集編集委員会編『田沼肇全活動 付・田沼肇著作集 [DVD]』 早川征一郎

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 多様な雇用形態にみる技能形成とワーク・ライフ・バランス——イギリスの事例研究を中心に

橋口三千代

所 報 2011年8月

【2012年1月 No.639】

【特集】オバマ政権下の社会労働法制

オバマ政権下で社会労働法制はどう変動したのか——特集にあたって 永野秀雄

オバマ政権の労働組合政策 沼田雅之

オバマ政権の差別規制政策 藤本 茂

オバマ政権の社会保険制度改革——医療保険制度改革及び失業保険給付の延長に焦点をあてて

根岸 忠

論 文 理系高学歴人材の人事労務管理——博士卒の処遇プレミアム 平尾智隆

読書ノート 『戦後革新勢力』をいかに歴史化するか——五十嵐仁編『「戦後革新勢力」の奔流』 道場親信

書評と紹介 村申仁三郎著『自然保護と戦後日本の国立公園——続「国立公園成立史の研究」』 西澤栄一郎

Simone R. Kirpal著 *Labour-Market Flexibility and Individual Careers——A Comparative Study*

橋口三千代

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 マイケル・オークショットの「市民状態」再考——新しい公共哲学をめざして 篠原佑美

所 報 2011年9月

【2012年2月 No.640】

【特集】障害（者）法（Disability Law）をめぐる諸問題（1）

障害（者）法（Disability Law）をめぐる諸問題——特集にあたって 菊池馨実

障害者法（Disability Law）をめぐる憲法的一思考 尾形 健

インクルージョンと分離をめぐる一考察——障害者教育法におけるLRE（より制限のない環境）の原則について 今川奈緒

日本における障害者法学の成立可能性——障害者基本法を素材とした試論 新田秀樹

論文 コミュニティ・ユニオニズムの多様性——日本と韓国のコミュニティ・ユニオニズムの比較

李 旼珍

研究ノート フリーター経験者を正社員として中途採用している企業の特性 安田宏樹

書評と紹介 小峯敦編著『経済思想のなかの貧困・福祉——近現代の日英における「経世済民」論』 古家弘幸

R.S.コーワン著／高橋雄造訳『お母さんは忙しくなるばかり——家事労働とテクノロジーの社会史』

榎 一江

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 大原社会問題研究所所蔵資料からみるワイマール期ドイツ1924/25年選挙の実情と歴史的意義

栢田大知彦

所 報 2011年10月

【2012年3月 No.641】

【特別寄稿】福島原発事故から考える日本の社会問題

原発事故で痛感させられた社会学者の社会的責任——何をどう分析するか 石田 雄

日本における脱原発時代の開幕 吉岡 斉

【特集】障害（者）法（Disability Law）をめぐる諸問題（2）

英国平等法における障害差別禁止と日本への示唆 川島 聡

日本における公的成年後見制度の導入について——ドイツの運用スキームを参考に 上山 泰

障害（者）法学の観点からみた成年後見制度——公的サービスとしての「意思決定支援」

菅 富美枝

書評と紹介 桜美林大学産業研究所編著『ハッ場ダムと地域社会——大規模公共事業による地域社会の疲弊』

朝井志歩

上野千鶴子著『ケアの社会学——当事者主権の福祉社会へ』 篠原佑美

資料紹介 『土地と自由』再刊1号（1946年2月15日）の所蔵確認によせて 横関 至

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 福祉国家と家族政策——ワーク・ライフ・バランス政策の論理について考える 原 伸子

所 報 2011年11月